

2024年9月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連がやや持ち直している。一方、生産活動、観光関連、投資関連は横ばい、雇用情勢がやや弱含み、畜産関連が弱含んでいる。足元では、物価上昇の影響がみられるなど、全体として回復の勢いがやや鈍化しつつある。

生産活動は、6月の鉱工業生産指数が4か月ぶりに前年を下回った。窯業・土石製品は前年を上回ったが、食料品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、8月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場も前年を下回った。一方、豚肉は前年を上回った。

個人消費関連は、7月の家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、乗用車新車登録台数、8月の軽自動車届出台数は前年を上回った。一方で、7月の百貨店・スーパー販売額はほぼ前年並みだった。

観光関連では、8月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区はほぼ前年並みで、奄美地区は6か月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、7月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.13倍となった。

【生産活動】... 横ばい

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

7月の焼酎生産は、2か月ぶりに前年を上回り、出荷量は2か月ぶりに前年を上回った。

6月のかつお節生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

8月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月ぶりに前年を下回り、民間工事向けは11か月連続で前年を下回り、全体では7か月連続で前年を下回った。

8月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

8月の子牛の出荷頭数は前年をやや上回り、価格は前年を下回った。8月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が4.9%減で6か月連続で前年を下回り、去勢A4が3.0%減で6か月連続で前年を下回った。7月の枝肉生産量は前年を上回った。

8月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は7.6%増と5か月連続で前年を上回った。7月の枝肉生産量は前年を上回った。

8月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は9.4%減と12か月連続で前年を下回り、むね肉は7.2%減と10か月連続で前年を下回った。8月の処理羽数は前年を下回った。

8月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は23.0%減と10か月連続で前年を下回った。7月の配合飼料価格は13か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... やや持ち直し

7月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品がほぼ前年並みとなり、全体でもほぼ前年並みとなった。

7月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

7月の乗用車新車登録台数は、2か月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は3.8%減、小型車が10.5%増となった。

8月の軽自動車届出台数は3か月連続で前年を上回った。

【観光関連】... 横ばい

8月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を上回った。九州などからの入り込みや個人客が増加した。

鹿児島地区は、九州などからの入り込みや個人客が増加し、3か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州などからの入り込みや個人客が減少し、4か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、中部などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、4か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区はほぼ前年並みで、奄美地区は6か月ぶりに前年を上回った。

8月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... 横ばい

8月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

7月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を下回った。

7月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも前年を下回り、全体では4か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、17.5%減となった。

7月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月連続で前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

7月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回ったが、再輸出品の大幅減により全体では36.9%減と10か月ぶりに前年を下回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回り、全体で23.5%増と2か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】... やや弱含み

7月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.13倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

7月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.8%上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年を下回った

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が4件で前年同月（6件）を7か月連続で下回った。また、負債総額は41億35百万円で前年同月（3億4百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)